

令和5年度 第3回 佐鳴台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月22日（木） 13時45分から 15時15分
- 2 開催場所 佐鳴台中学校 会議室
- 3 出席委員 栗田 高典 橋本 博行 中条 操 大塚 幸作
嶋津 歌絵 大屋 久美子 鈴木 秀昌 高御堂 仁美
中野 昭良（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 守屋 謙一郎（校長） 門名 由佳（教頭）
坪井 秀臣（教務） 三浦 優介（生徒指導）
城本 絵美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議記録作成者 CSディレクター 城本 絵美
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中条委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 学校運営協議会の自己評価
- (3) 外国につながる生徒の指導・支援
- (4) 総合的な学習の時間と地域の連携
- (5) 夢育やらまいか事業（CS加算分）

11 会議記録

司会の教務から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務から学校関係者評価について説明、生徒指導からいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・ 前回の運営協議会で話題になったいじめ発生時の保護者連絡への方法についてすぐに対応していただけたことがよく分かった。ガイドラインもHPにすぐアップデートされ、対応の速さに安心した。（鈴木委員）

・ リモート対応は普段からできるようになっているのか。（栗田会長）

→ 生徒たちの学びを保障するために、多様な取組みを学校では行っている。そのひとつにタブレットの持ち帰りを行い、リモートでつないでいる。出席停止の生徒だけでなく、長期欠席の生徒も授業の様子が確認できるように対応している。（校長）

・ リモートは授業を受けたことになるのか。（栗田会長）

→ 通信簿や指導要録にICTを活用した学習等の記載をし、出席扱いとなる。（教務）

・ タブレットの使用に抵抗感がある生徒はいないか（大屋委員）

→ 普段から使用しているため抵抗のある生徒は見受けられない。授業によってはマイクをオンにしてコミュニケーションを取りながら授業を受けていることもある。（教務）

・ 遅れて登校する生徒の家庭にお願いしたいことはあるか。（中条委員）

→ 今の時代は「どこで」「どう」学ぶかという多様性がある。学校で一緒に学べるとよいと思うが、生活習慣や衣食住、礼儀マナーに関しても保護者と一緒に協力しながら進めていけたらよいと思っている。（校長）

早寝・早起き・朝ごはんを大切にしていけるとよい。（中条委員）

→ いろいろな家庭があるため、各家庭の様子を確認しながら進めていけたらとよいと思っている。（教頭）

(2) 学校運営協議会の自己評価について

会長から学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・ 時代の変化に合わせて、もっと多くの地域や保護者の方にコミュニティスクールというものを知ってもらうためには努力が必要だと思う。良い方法があれば教えていただきたい。（栗田会長）

全員異議なくこれを承認した。

(3) 外国につながる生徒の指導・支援について

議長の指示により、教務から外国につながる生徒の指導・支援についての説明があった。

- ・ 昨今、ソフトウェアでも同時文字起こしの精度が上がってきているので、同時翻訳のツールなどを取り入れてみるのはいかがでしょうか（鈴木委員）
 - 学校ではグーグル翻訳などは使用している。文書等は、保護者が携帯の機能を使って見てもらえばわかると思うが、電話だけで伝えるのはなかなか厳しい。（校長）
- ・ 学校で使う書類や提出物には決まったフォーマットがあるのでよいと思うが、佐鳴台のように外国につながる生徒が多く、一人一人に合わせた対応が必要である現状を浜松市に理解してもらえると思う。通訳のいない授業で生徒が通訳をしていることもある。その生徒も負担に感じてしまうことがあり、全体でケアできるシステムがあればよいと思う。（高御堂委員）
 - 授業の中で日本語が難しい生徒は、自主的にグーグル翻訳で調べながら受けている。そこをサポートする生徒もいる。通訳さんが来た時は隣についてもらっている。（生徒指導）
 - グーグル翻訳を使用しているが、専門用語を翻訳したものがうまく伝わっているかはわからない。（教務）
 - 課題をタブレットで翻訳して理解している。外国語から日本語に翻訳するとおかしな言葉になることも多々ある。通訳さんが入る回数を増やすことで安心して授業を受けられると思う。（教頭）
- ・ 保護者と電話連絡ではなくメールにすればグーグル翻訳できるため、メールの方がコミュニケーション取りやすいのではないかと。（鈴木委員）
- ・ 便利なツールを使って、もっと柔軟に使っていただければよいと思う。（栗田会長）
- ・ 以前佐鳴台中学校にも長い時間勤務していた外国人支援員はいたが、支援員の数が市内全体で限られていて、初期対応に回っている現状がある。生活言語の次に学習言語と進めていくという市の方針の中で体制がある。中学校では進路、生徒指導面で保護者と話をすることが多いため、外国籍の生徒が多く、相談件数の多い地区では支援員の配置をしてほしいと願っている。（校長）

今後、外国につながる生徒に対する支援について、佐鳴台中運営協議会として、市に要望していくことを確認した。

(4) 総合的な学習の時間と地域の連携について

議長の指示により、教務から総合的な学習の時間と地域の連携について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 具体的にどういう人材が必要なのか明確になれば声を掛けられる。（中条委員）
 - 歌会で俳句の作り方のコツを少し教えていただける方を紹介していただきたい。（校長）
 - 元教員で川柳を読む人が地域にはいるが、川柳を読む人でもよいか。（中条委員、大屋委員）
 - 連絡を取っていききたいと思います。（教務）

(5) 夢育やらまいか事業（CS加算分）の報告

議長の指示により、教頭から夢育やらまいかCS加算分の報告があった。

- ・ 子供たちはいろいろな人の講話を聞くことで刺激を受け喜んでいる。（鈴木委員）
- ・ 浜松には世界的な企業も多くあり、海外と繋がる方などいるため、その方たちに講話をお願いしていくのもよいと思う。（中条委員）

全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

○3年生面接

- ・ 例年に比べて面接の受け答えが、しっかりしていてよい感触だった。（中野委員）
- ・ 礼儀作法がしっかりしていて、心構えも大変できている。聞かれたことも的確に答えられる。気になったのは声の大きさやトーン、しっかり声を届けることがもう少しできればもっと自分をアピールできるのではないかと。（中条委員）

連絡

- ・ 制服の見直しについて、多様性を尊重する時代に合わせたデザインに見直ししていくことも視野に入れ考えている。今後、耐久性、価格面などの提案企画書を作成してもらい、検討していく。（生徒指導）
- ・ 司会の教務から、来年度の会議は令和6年6月14日（金）13:30~15:30佐鳴台中学校会議室で開催する旨の報告があった。委員の任期を踏まえて、全員の総入れ替えとならないよう後任の方をご紹介いただけるとありがたい。（教務）